

楽しい夏を過ごすために

～ 火の取り扱い・水の事故に注意！ ～

鹿角管内における上半期（1～6月）の火災発生件数は22件となっています。特に雪解け後の野焼きや火入れ等による林野火災とその他の火災が多く、例年を上回る発生件数です。火を扱うときは、「自分は大丈夫」と過信せず、強風などの気象状況を見極め、あらかじめ消火用具を準備したうえで、最中はその場を離れないことが大切です。

夏といえばレジャーの季節です。BBQや花火など火を使う機会が増え、毎年それに伴う火災や事故が全国で発生しています。正しい使用や後始末をして、安全にレジャーを楽しみましょう。

また、プールや河川、海などに出かける機会も多くなるので、水の事故にも注意が必要です。みなさん自身の安全を守るためにも、十分気をつけましょう。

《BBQ》

- 燃えやすいものを近くに置かないようにしましょう。
（屋外では火が見えにくいことがあるので注意が必要です）
- 着衣着火や火傷にも注意しましょう。
- 着火剤は揮発性があり、継ぎ足しは非常に危険です。
火の近くに放置することもやめましょう。
- 燃え残った炭は、完全に消火してから可燃ゴミとして処分しましょう。
- 子供の手が届く所にマッチやライターを置かないようにしましょう。
- カセットコンロを使用する場合、鍋や鉄板がガスボンベを覆うような置き方はしないようにしましょう。ボンベが過熱され、非常に危険です。
- 使用済みのカセットボンベを処分する場合は、完全に使い切り、ガスを抜いてから資源ゴミとして処分しましょう。（穴は開けなくて良い）※鹿角市小坂町の場合



《リンク》

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/sonota/2020082704.html>

（[nite](https://www.nite.go.jp) 独立行政法人製品評価技術基盤機構「着火剤つぎ足しでやけど」）


<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/nenshou/17122102.html>

（[nite](https://www.nite.go.jp) 独立行政法人製品評価技術基盤機構「2台並べたカセットコンロの破裂」）

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/poster/sonota/19102402.html>

（[nite](https://www.nite.go.jp) 独立行政法人製品評価技術基盤機構「カセットボンベごみ収集車で発火」）

<http://www.ink.or.jp/~kouiki/gominodasikata.pdf>

（ 鹿角広域行政組合「ごみの出し方とリサイクル」）

《花火》

- 花火の近くに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- 事前に水バケツを用意し、終わった花火は必ず水に浸けましょう。
- 風が強いときは中止するようにしましょう。
- ライターで着火するのは、指を火傷する恐れがあり危険です。
ローソクや線香を使用しましょう。
- 子供だけで遊ばせず、大人がしっかり監視するようにしましょう。



《リンク》

<http://www.hanabi-jpa.jp/cms/wp-content/uploads/2014/08/2022%E3%81%97%E3%81%8A%E3%82%8A.pdf>

(公益社団法人日本煙火協会「花火のやくそく」)

《水の事故》

- 子供だけで、川や海での水遊びは非常に危険です。
大人がしっかり監視しましょう。
- 水遊びの際は、ライフジャケットを必ず着用しましょう。
- 遊泳禁止の場所には立ち入ってはいけません。
- 海や川などの自然環境の中では、急な天候の変化に注意しましょう。
- 飲酒しながら又飲酒後の遊泳は絶対にしないようにしましょう。



《その他》

夏場は自動車が非常に高温になります。直射日光のあたる場所や高温になる場所にガスマイターやスプレー缶、リチウムイオン電池などを含む電子機器（スマートフォンなど）を放置していると、思わぬ事故につながる危険性があります。

真夏の車内温度は約 60 度、特に直射日光のあたるダッシュボード表面は約 90 度近くまで上昇することが確認されています。ガスやスプレー缶には「直射日光・40 度以上の高温になる場所は避けること」(※スプレー缶の種類によって、表示されている温度は異なります) という内容の表示がされており、40 度以上になると内部のガスが膨張し、破裂する恐れがあります。

これらが原因の火災事故も全国で発生しています。車を離れる際には、十分注意しましょう。

